

- 問1 1872年、日本で初めて鉄道が開通した際の起点は新橋でしたが、終点はどこ？
- 問2 政府を去った板垣退助らが、専制政治を批判して国会の開設を求めた建白書が提出されたのは何年？
- 問3 八幡製鉄所の建設費用として、政府が活用した戦争の賠償金は何か？
- 問4 明治時代に、日本の伝統的な美術を継承し、新しい芸術を育てるために設立された学校を何という？
- 問5 明治政府が欧米の制度を視察し、不平等条約の改正交渉を行うために派遣した使節団を何という？
- 問6 イギリス船が沈没した際、日本人乗客が見捨てられ、船長が日本の法律で裁けず軽い刑で済まされたことで、条約改正の世論が高まるきっかけとなった事件を何という？
- 問7 納税額など一定の条件を満たした人のみに選挙権を与える制度を何という？
- 問8 1912年に中華民国が建国された際、その首都とされた都市はどこ？
- 問9 明治時代末期に外務大臣として条約改正に尽力した政治家は誰ですか？（※本問題は力テゴリ上の制約により、役職ではなく人物名を指す設問として再構築）
- 問10 福岡県北九州市で操業を開始した、日本初の本格的な官営製鉄所が完成したのは西暦何年？
- 問11 明治政府が産業の近代化を進めるため、欧米の技術を導入して群馬県に設立した官営模範工場を何という？
- 問12 日露戦争中に日本海海戦で活躍した、連合艦隊の旗艦となった日本の軍艦を何という？
- 問13 明治政府が欧米諸国に対し、日本が近代国家として対等であることを示し、改正を目指した条約を何という？
- 問14 自由党や立憲改進黨などが、政府に対して強く要求した、国民の代表による会議を開くための目標を何という？
- 問15 第一次世界大戦において、日本が参戦する根拠となった、1902年にイギリスと結んだ同盟を何という？
- 問16 明治時代後半に、製糸業や紡績業が中心となって進んだ社会の技術・経済的な転換を何という？
- 問17 日露戦争の講和条約に不満を持った国民が集まり、暴動へと発展した東京の集会場所を何という？
- 問18 明治政府が改正を目指し、欧化政策の象徴として建設された施設は、何というもののとの交渉を有利に進めるために建てられた？
- 問19 明治時代、群馬県に建てられ、海外輸出用の生糸を生産した最初の官営模範工場を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 横浜	1872年、新橋（現在の汐留）と横浜（現在の桜木町）の間で、日本初の鉄道が開通しました。この鉄道はイギリスの技術を取り入れて建設され、当時は蒸気機関車が走り抜ける姿が人々に強い衝撃を与えました。鉄道の開通により、人や物の移動が劇的に速く、便利になりました。
問2	答え 1874年	1874年に板垣退助や後藤象二郎らが提出したのが「民撰議院設立建白書」です。これは、特定の藩出身者による独裁的な政治（有司専制）を批判し、国民が選んだ議員による議会を作ることの必要性を訴えた文書でした。
問3	答え 日清戦争	政府は、この日清戦争の賠償金を、近代的な工業化を推進するための軍備増強や製鉄所の建設といった国家プロジェクトに集中的に投資しました。これにより、1901年に八幡製鉄所が建設され、本格的な製鉄生産が始まりました。
問4	答え 東京美術学校	岡倉天心やアーネスト・フェノロサの協力のもと、1887年に東京美術学校が設立されました。ここでは日本の伝統的な日本画の技法を学びつつ、新しい時代の表現を模索する指導が行われました。
問5	答え 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を特命全權大使として、木戸孝允や大久保利通ら政府の主要メンバーが欧米へ派遣されました。彼らはアメリカやヨーロッパ諸国を巡り、進んだ産業や政治制度を学びましたが、条約改正の交渉は相手国の理解を得られず失敗に終わりました。
問6	答え ノルマントン号事件	1886年、和歌山県沖でイギリス船ノルマントン号が沈没しました。外国人乗組員は救命ボートで助かりましたが、日本人乗客は全員溺死しました。領事裁判の結果、船長がわずかな刑罰で済んだことに日本国民は激怒し、不平等条約の即時撤廃を求める世論が全国的に沸騰しました。
問7	答え 制限選挙	制限選挙は、直接国税の納付額などによって有権者を絞り込む仕組みです。明治初期の衆議院議員選挙では、高額納税者のみに投票権が認められていました。これは、当時の政府が「経済的基盤を持つ者に政治を任せるべきだ」と考えたためです。しかし、この制度は一部の階層の意見のみを反映するものとして、次第に反対運動が起こるようになりました。
問8	答え 南京	1912年1月1日、孫文が中華民国の臨時大總統に就任し、南京を首都と定めて政府が樹立されました。これはアジア初の共和国として、非常に象徴的な出来事でした。
問9	答え 小村寿太郎	小村寿太郎は外務大臣として、領事裁判権の撤廃や関税自主権の回復に向けた困難な交渉を主導しました。その卓越した外交手腕は日本の国際的地位を大幅に引き上げました。
問10	答え 1901年	日清戦争の賠償金などを元手に、福岡県の北九州に建設された八幡製鉄所が1901年に操業を開始しました。原料の鉄鉱石を中国から輸入し、燃料の石炭を筑豊炭田から運ぶのに適した場所が選ばれました。これが日本における本格的な鉄鋼生産の始まりです。
問11	答え 富岡製糸場	富岡製糸場は、1872年に群馬県に設立された官営の模範工場です。フランスから指導者を招き、最新の製糸機械を導入して大量生産を行いました。これにより、日本の製糸技術は飛躍的に向上しました。
問12	答え 軍艦三笠	1905年の日本海海戦において、東郷平八郎率いる連合艦隊の旗艦として「軍艦三笠」は中心的な役割を果たしました。この勝利により、日本は制海権を完全に確保することができました。
問13	答え 不平等条約	明治政府にとって、これらの不平等な内容を改めることは「国家の独立」に関わる最大の外交課題でした。政府は、日本が欧米並みの法整備や文化を取り入れたことを証明し、条約改正の交渉を粘り強く進めました。
問14	答え 国会開設	板垣退助の「民撰議院設立の建白書」をきっかけに、国会開設を求める動きが全国的に広がりました。自由党や立憲改進党といった政党が結成され、政府に対して議会を作るよう激しく要求しました。
問15	答え 日英同盟	1902年に締結された日英同盟は、両国の利害を調整し、アジアでの協調を図るための同盟でした。1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本はこの同盟を理由に連合国側として参戦し、東アジアでの影響力を強めました。
問16	答え 産業革命	製糸業や紡績業といった軽工業を中心に、機械を使った大量生産が普及しました。この急速な工業化により、日本の産業構造は農業中心から工業中心へと大きく変わりました。しかし、その陰では工場で働く労働者の過酷な労働環境が社会問題となりました。
問17	答え 日比谷公園	1905年9月、東京の日比谷公園で開かれた講和反対国民大会がきっかけとなり、群衆が暴徒化して周辺の警察署や新聞社を襲撃しました。これを日比谷焼打ち事件と呼びます。
問18	答え 不平等条約	不平等条約には、外国人が日本で罪を犯しても日本の裁判で裁けない領事裁判権や、日本が独自の関税を決められない関税自主権の欠如が含まれていました。
問19	答え 富岡製糸場	1872年、政府は群馬県に富岡製糸場を建設しました。フランスから技術者を招き、最新の繰糸機を導入して高品質な生糸の大量生産を行いました。全国から工女が集められ、ここで学んだ技術が各地の製糸工場へ伝えられました。